年間授業計画　様式例

高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　　芸術　　科目　書の表現と理論

教　科：　芸術　　科　目：　書の表現と理論　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　１組～　５組

教科担当者：（１組：成田　）　（２組：成田　）　（３組：成田　）　（４組：成田　）　（５組：　成田　）

使用教科書：（ 書Ⅰ/書Ⅰプライマリーブック　教育図書　　）

教科　芸術　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】芸術に関する各教科の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるように

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い

科目　書の表現と理論　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な機能を身につけるようにする。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し 表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や 価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることが	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			漢仮	漢	仮						
1学期	硬筆検定について傾向と対策 6月と11月に硬筆検定を受験する 検定準備 ・理論問題 ・実技問題 ・検定試験（6月）	硬筆検定ガイダンス 部分の名称・筆順/草書を読む/平仮名の字源/漢字の字体) 漢字かな交じり文（縦書き・横書き）速書き/掲示文/通信文 第1回硬筆書写機能検定実施	○	○	○		・硬筆検定に関心を持ち、専門的な技術・知識を身に付けるために主体的に課題に取り組む姿勢などを評価する。 ・学習成果の達成状況を評価する。	○		○	26
	創作「色紙に書く」 ・文化祭に展示する作品を制作する。	・書く言葉を決め、表現したい イメー　ジを明確にする ・イメージに合わせて草稿を練る ・作品を仕上げる ・発泡スチロールで印を作り、押印する ・文化祭の作品展示と鑑賞	○	○	○	○	・創作に関心を持ち、自分の表現したいイメージに近づくことができたか評価する。		○	○	6
2学期	創作「色紙に書く」 ・文化祭に展示する作品を制作する。	・書く言葉を決め、表現したい イメージを明確にする ・イメージに合わせて草稿を練る ・作品を仕上げる ・発泡スチロールで印を作り、押印する ・文化祭の作品展示と鑑賞	○	○	○	○	・創作に関心を持ち、自分の表現したいイメージに近づくことができたか評価する。		○	○	14
	検定準備 ・第2回硬筆書写技能検定準２級 ２級合格に向けて準備する ・検定試験（11月）	理論問題・実技問題に取り組む 第2回硬筆書写技能検定実施	○	○	○		・硬筆検定に関心を持ち、さらに専門的な技術・知識を身に付けるために主体的に課題に取り組む姿勢などを評価する。 ・学習成果の達成状況を評価する。	○		○	16
3学期	生活の中の書 ・毛筆、硬筆、筆ペンで書く	・姓名の書き方（楷書・行書） ・季節の手紙 ・表書の書き方	○	○	○		・生活の中の書に関心を持ち、専門専門な技術・知識を身に付けるために主体的に課題に取り組む姿勢などを評価を評価する。	○		○	4
	1年間のまとめ	硬筆練習帳を終わらせる	○	○	○		・主体的に取り組む姿勢などを評価する。			○	4 合計 70